

市民等アンケート結果

新総合体育館整備基本計画の策定にあたり、体育館に対するニーズを把握するため、令和2年10月に市民、体育館利用団体、スポーツ・レクリエーション団体及びスポーツ推進委員に対しアンケート調査を行い、現市民体育館の評価や新総合体育館への要望等について、幅広く意見をいただきました。

調査対象	配布数	回答数	回収率
市民アンケート※（1,000人無作為抽出）	1,000	494	49.4%
体育館利用団体 ※体育館利用時に配布・回収	20	20	100.0%
スポーツ・レクリエーション団体 屋内利用団体のみ （体育協会、スポーツ少年団、学校体育施設利用団体）	90	38	42.2%
スポーツ推進委員	37	23	62.2%
計	1,147	575	50.1%

※市民アンケート

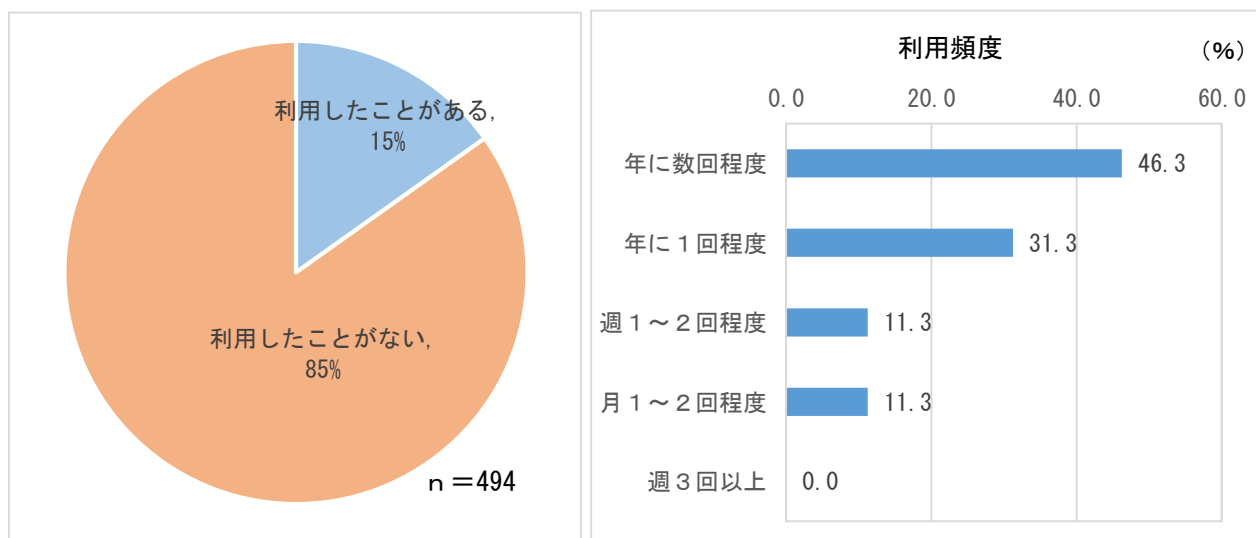
※①調査対象：令和2年4月2日現在で15歳以上の男女計1,000人

②抽出方法：15～19歳、20～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上の7階層、
地区別（19地区）の人口比率に合わせ無作為に抽出。

（1）市民へのアンケート

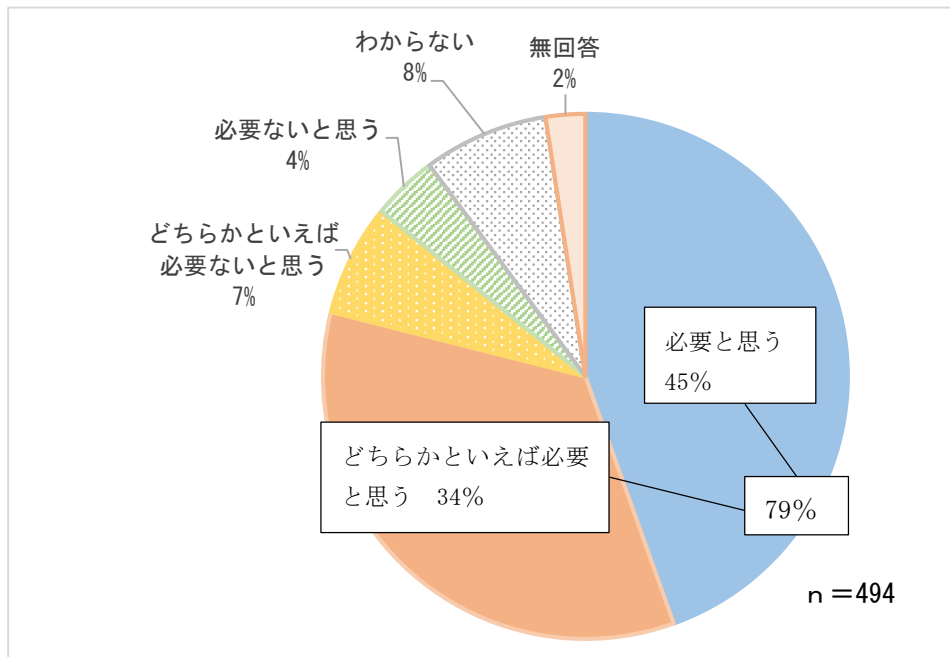
① 最近1年間に体育館を利用したことがありますか。

「最近1年間で体育館を利用したことがない」割合が85%と高い結果となっています。「利用したことがある」場合でも、年に数回または1回程度とそれほど多くないのが現状となっています。

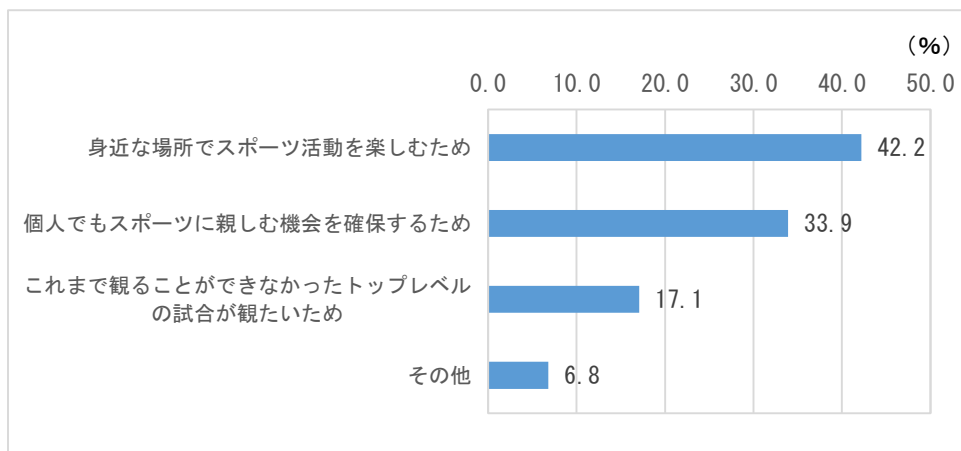


② 新しい体育館の整備の必要性について

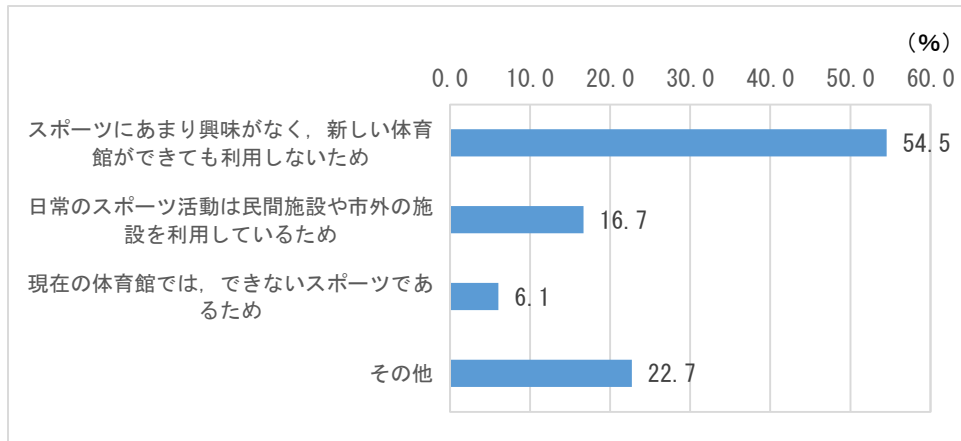
「必要と思う」と「どちらかといえば必要と思う」を合わせると79%と体育館整備に対して関心が高いことがわかります。



「必要と思う」「どちらかといえば必要と思う」理由

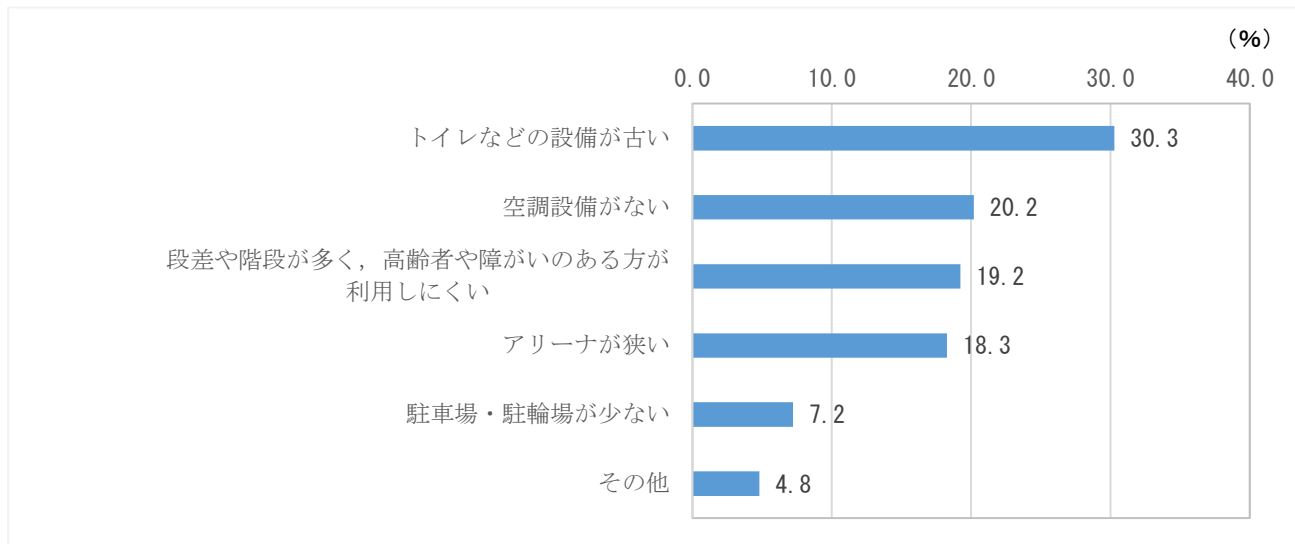


「どちらかといえば必要ない」「必要ないと思う」理由



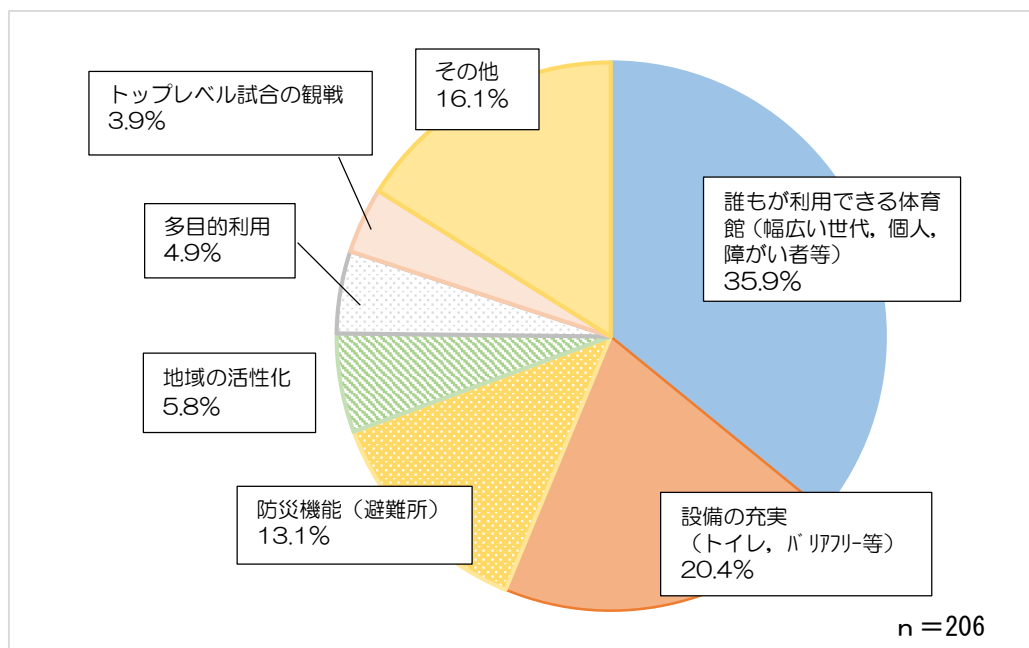
③ 現在の体育館の施設面、機能面で不便に感じたことについて

最も多かったのは「トイレなどの設備が古い」が30.3%、次いで「空調設備がない」が20.2%、「段差や階段が多く、高齢者や障がいのある方が利用しにくい」が19.2%となっています。近年の体育館に求められているトイレ環境、空調設備、バリアフリー化が整備されていないなど、市民体育館はニーズに応えられていない現状となっています。



④ 自由意見

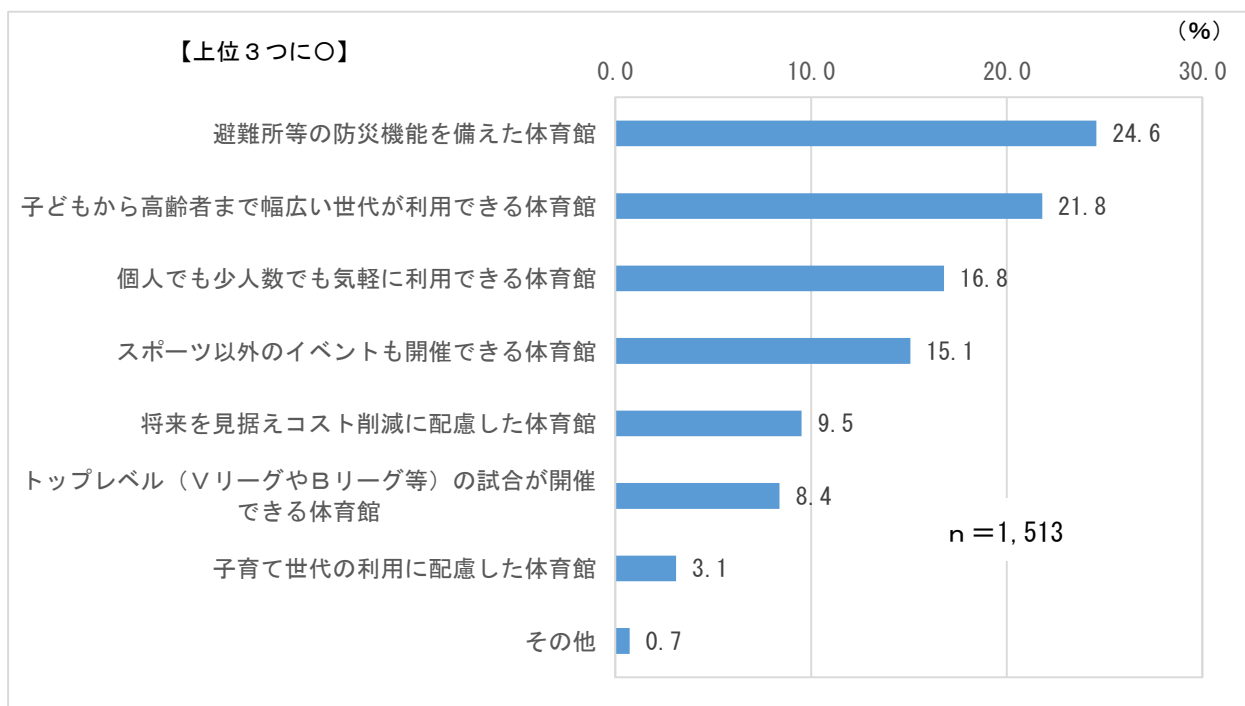
自由意見の内容を大きく分類すると以下のとおりです。最も多かったのは、「誰もが利用できる体育館」が35.9%、「設備の充実」が20.4%となっています。このことから、誰もが利用できるとともに、設備が充実し使いやすい体育館整備が求められています。



(2) すべての対象者へのアンケート

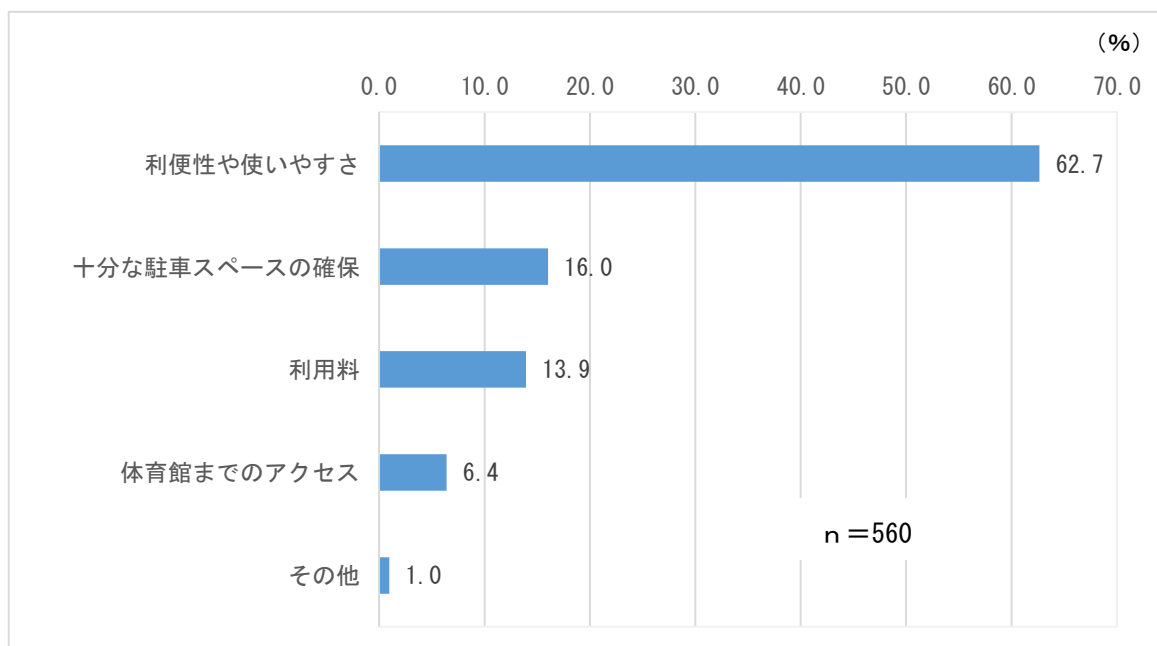
① 新しい体育館に望む機能について

東日本大震災や令和元年 10 月の台風 19 号による被害など自然災害が身近におきていることから、「避難所等の防災機能を備えた体育館」で 24.6%と最も多くなっています。次いで「子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できる体育館」で 21.8%、「個人でも少人数でも気軽に利用できる体育館」で 16.8%となっています。年齢や人数を問わない誰もが利用できる体育館が求められています。



② 利用するうえで重要と思うこと

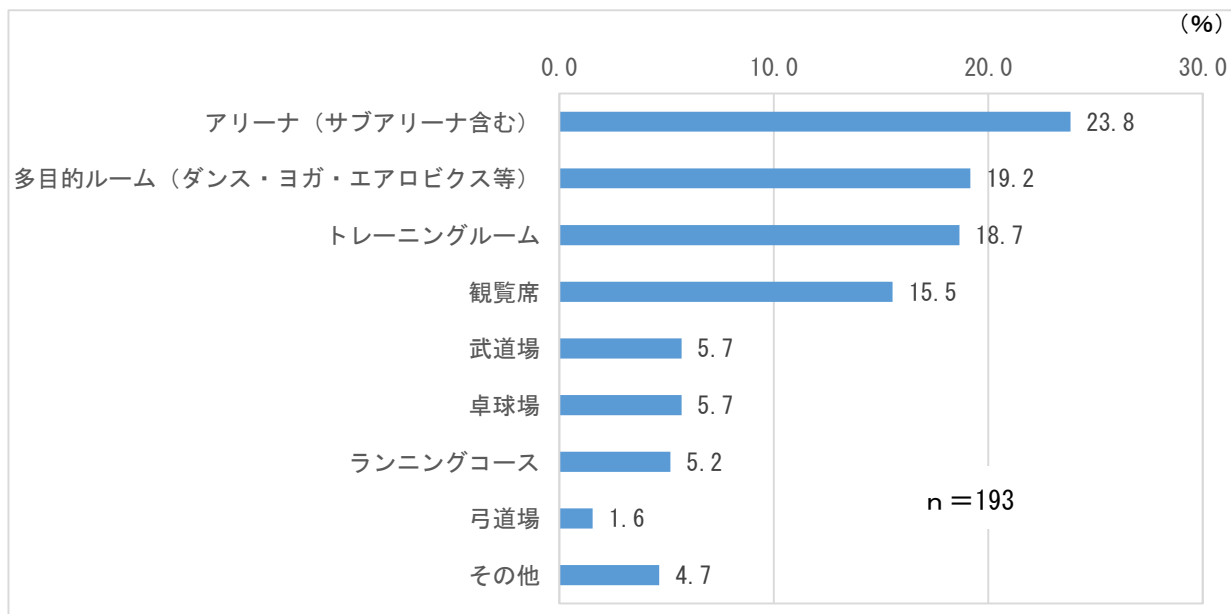
最も多かったのは「利便性や使いやすさ」で 62.7%と他の項目と比較しても突出した回答となっています。



(3) 体育館利用者、スポーツ・レクリエーション団体、スポーツ推進委員へのアンケート

① 新しい体育館に望む設備について（スポーツ設備）

最も多かったのは、「アリーナ（サブアリーナ含む）」で 23.8%となっています。次いで多いのが「多目的ルーム」19.2%、「トレーニングルーム」18.7%となっています。現在の体育館では必須となっているサブアリーナの設置や、少人数や個人でも利用できる設備が求められています。



② 新しい体育館に望む設備について（附帯設備）

最も多かったのは「照明・空調設備」で 18.6%と、ここでも空調設備の整備に対するニーズが高くなっています。

